

Jacques Ibert (1890–1962)

ジャック・イベル

明るくオシャレなフランス男

オペラにバレエ、オーケストラ作品に室内楽、歌曲や映画音楽と、オールラウンドに才能を発揮したイベル。20代に勃発した第1次世界大戦では士官として従軍したが、戦後に作曲家の登竜門とされる「ローマ賞」を受賞。1862年生まれのだビュシー、1875年生まれのラヴェルに続く世代のフランスの作曲家として道を拓いた。明るさとアイロニーを併せ持つ彼の作品は、フランスらしい優雅で洗練された書法で纏められている。

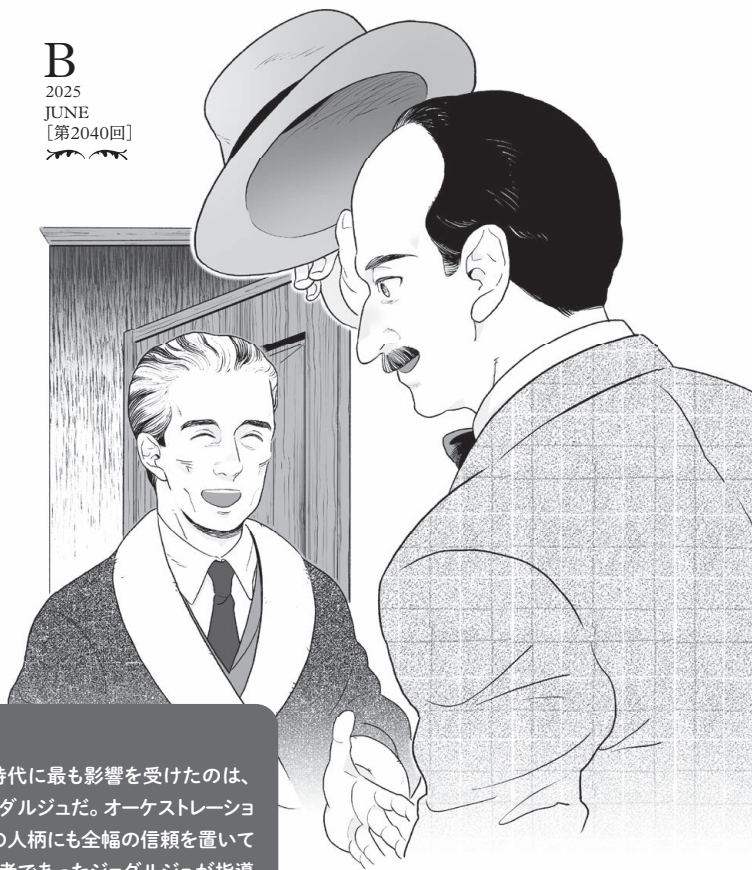
B

2025

JUNE

[第2040回]

👁️👁️



ラヴェルとの交流

イベルがパリ音楽院時代に最も影響を受けたのは、対位法クラスの教授ジェダルジュだ。オーケストレーションの教えだけでなく、その人柄にも全幅の信頼を置いて慕っていた。優れた教育者であったジェダルジュが指導した作曲家のなかにはラヴェルもいて、イベルは、兄弟子にあたるラヴェルとも親しく交流していたという。

オシャレで温かなイベルの訪問に、
思わず笑顔がこぼれるラヴェル先輩

イラストレーション: ©IKE